

内ヶ谷ダム 建設中

「日も早い完成を目指して」



ダムサイト状況（上流上空より）

郡上市は豊かな自然に恵まれており、特に「清流長良川の鮎」(里川における人と鮎のつながり)が世界農業遺産に認定されるなど、市内を流れる美しい水と私たちの生活には密接なかわりがあります。しかしながら、水は豊かな恵みを与えてくれる反面、豪雨時における河川の氾濫等、市民生活を脅かす災害をもたらす面も持っています。長良川沿川地域においても、近年、平成14年7月や平成16年10月の台風等による出水のため、度々大きな被害を受けています。

長良川流域には、東海北陸自動車道や東海環状自動車道等の交通網の整備が進められており、観光振興における流入人口の増加や産業振興による物流の促進のためにも、流域全体の治水安全度の向上が求められています。

こうした背景から、下流域の洪水被害軽減のため、岐阜県により河川改修に加え、「内ヶ谷ダム」が建設されています。

ダム建設の目的

水害から守る

ダム地点の計画高水流量880 m^3/s のうち、690 m^3/s の洪水調節を行うことで、ダム下流域の洪水被害を軽減します。これにより治水計画基準点(長良川合流地点)において、洪水時の水位を0.74m下げることができます。

流水の正常な機能の維持

河川の流量が不足しているときに、ダムから貯留水を補給することによって、亀尾島川沿川の既得取水の安定化や河川環境の維持・保全を図ります。

発電

ダムからの放流水を活用し年間460万KWh(一般家庭1,500世帯分)の発電も行います。

流域の概要

亀尾島川は、岐阜県・福井県境の越美山地(標高1,148m)にその源を発し、南東に流れて八幡町に入り、右岸より那比川を合流した後、東南東に流れを変え、長良川に合流する流域面積120.4 km^2 、流路延長24.1kmの一級河川です。

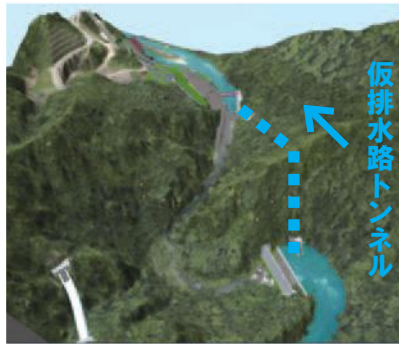


《ダム本体工事の流れ》

※画像はイメージ図になります



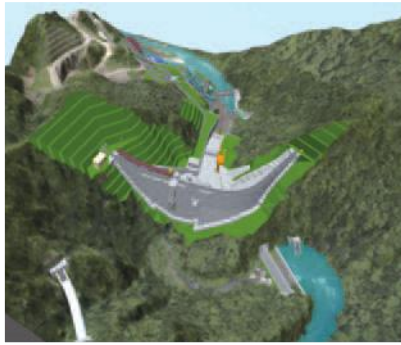
①本体着工前



②転流工



③基礎掘削



④コンクリート打設



⑤試験湛水



⑥完成

FAX 65・4966
TEL 67・1116

問 工事事務所

岐阜県長良川上流河川開発

見学会も受け入れていますので、ご相談ください。

「内ヶ谷ダム」では堤体で約33万m³のコンクリートが使用され、この量は白鳥町の「阿多岐ダム」の1.7倍です。また、ダムによって出来るダム湖の湖面は、名古屋ドームのグラウンド34面分の大きさになります。現在、「内ヶ谷ダム」は令和7年度の完成に向け建設が進められています。

工事に伴い道路の規制等が行われているため、みなさんにはご協力いただきますとともに、岐阜県長良川上流河川開発工事事務所では、団体単位での現地見学会も受け入れていますので、ご相談ください。

ダムの諸元

| | |
|--------|------------------------|
| 堤高 | 84.2m |
| 堤頂長 | 261.5m |
| 堤体積 | 約330,000m ³ |
| 総貯水容量 | 11,500千m ³ |
| 有効貯水容量 | 9,100千m ³ |
| 集水面積 | 39.9km ² |
| 湛水面積 | 0.46km ² |

岐阜県 内ヶ谷ダム 工事進捗状況 (令和2年10月末現在)

ダムサイト状況(下流上空より)



ダムサイト状況(右岸上空より)



ダムサイト状況(左岸上空より)

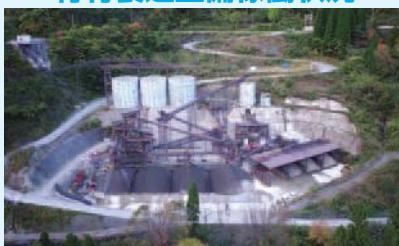


コンクリート打設状況(10月末時点)



コンクリート打設量
約3.85% (全体：約39.5万m³)
※堤体で約33万m³

骨材製造整備稼働状況



タワークレーン施工状況



コンクリート基礎の上にタワークレーンを設置しました。11月からタワークレーンを用いたコンクリート打設を行います。

HPアドレス<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/142.html> または「内ヶ谷ダム」で検索